

妊婦さん向け

アールエス

RSウイルスワクチンのお知らせ

～令和8年4月1日から定期接種開始～

【定期接種対象者（無料接種期間）】

接種時点で大阪市民であり、

妊娠28週から37週に至るまでの方

（妊娠28週0日から36週6日までの方）



- ・過去の妊娠時にRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン）を接種したことがある方も対象です。
- ・接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠38週6日までに出産を予定している場合は医師に相談してください。

1 RSウイルス感染症について

RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、乳幼児から大人まで誰もが感染します。2歳までにほぼすべての乳幼児が一度は感染し、その後も一生の間に何度も感染します。

症状は、発熱、鼻水、咳などが数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

RSウイルス感染症で医療機関を受診した2歳未満の乳幼児のうち、約4人に1人が入院し、特に生後6か月未満で感染すると重症化しやすいと言われています。

2 RSウイルスワクチンについて

RSウイルス感染症による下気道疾患（細気管支炎・肺炎等）を予防する組換え（不活化）ワクチンです。

妊婦が接種すると、RSウイルスに対する抗体が体内で作られ、この抗体が胎盤を通じて胎児へ移行することで免疫（母子免疫）がつけます。



予防効果（医療機関受診を必要とした感染症）	生後3か月時点	生後6か月時点
下気道感染症の予防	6割程度	5割程度
重症下気道感染症の予防	8割程度	7割程度

3 副反応について

主な副反応は注射した部位の痛み（疼痛）（40.6%）、赤くなる（紅斑）・腫れる（腫脹）（10%未満）で、全身的な反応としては頭痛（31.0%）、筋肉痛（26.5%）、発疹・じんましんがあります。また、頻度は不明ですが、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー*があらわれることがあります。

※アナフィラキシーとは、接種後30分以内におこるアレルギー反応で、ショック状態になるような激しい全身反応のことをいいます。



4 予防接種を受けに行く前に

このリーフレットの説明をよくお読みいただき、予防接種の内容についてよく理解し、接種してください。予防接種は体調の良いときに受けることが原則です。気になることやわからないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師に質問しましょう。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。現在、病気などで治療中の方、今までに免疫状態の異常を指摘されたことがある方は、担当医師とよく相談し、十分に納得して接種を受けましょう。

【予防接種を受けることができない方】

- (1) 明らかに発熱のある人（一般的に体温が37.5℃以上の場合をいいます）
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- (3) 予防接種に含まれる成分でアナフィラキシー*を起こしたことがある人
- (4) その他、医師が不適当な状態と判断した人
(現在、病気などで治療中の方は主治医にご相談ください。)



5 予防接種の受け方

- (1) 予約は、大阪市ホームページに記載されている医療機関へ電話などで申し込んでください。



RSウイルスワクチン
について

里帰り出産等で大阪市外の医療機関で定期接種を受ける場合、手続きが必要になる場合があります。大阪市ホームページ「大阪市外の医療機関で定期接種を受ける場合について」をご覧ください、接種予定の医療機関にご相談ください。

大阪市外の医療機関で
定期接種を受ける場合



- (2) 接種当日は、「母子健康手帳」をご持参ください。予約日時に医療機関に行き、医療機関に置いてある「予診票」と「予防接種実施申込書」に必要事項をご記入ください。
- (3) 医師の診察により、接種できるかどうかの判定を行います。その結果、接種できるときには改めて接種を受けるかどうかの確認を行い、サインをいただいてから接種します。
- (4) 接種費用は無料です。
(ただし接種対象期間外の接種は任意接種となり、費用は自己負担になります)



6 予防接種を受けたあとの注意

- (1) 接種後30分は体調が変化することがありますので、医師とすぐに連絡がとれるようにしましょう。
- (2) 接種後1週間は副反応の出現に注意し、注射部位の腫れ、高熱、嘔吐、けいれん、その他変わったことがあるときは、すみやかに医師の診断を受けましょう。
- (3) 入浴はさしつかえありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- (4) 接種当日は体調の変化に気を配り、激しい運動は控えましょう。
※予診票の副票は大切に保管しておいてください。

【各区保健福祉センター問い合わせ先】

保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号
北区	06-6313-9882	天王寺区	06-6774-9882	城東区	06-6930-9882
都島区	06-6882-9882	浪速区	06-6647-9882	鶴見区	06-6915-9882
福島区	06-6464-9882	西淀川区	06-6478-9882	阿倍野区	06-6622-9882
此花区	06-6466-9882	淀川区	06-6308-9882	住之江区	06-6682-9882
中央区	06-6267-9882	東淀川区	06-4809-9882	住吉区	06-6694-9882
西区	06-6532-9882	東成区	06-6977-9882	東住吉区	06-4399-9882
港区	06-6576-9882	生野区	06-6715-9882	平野区	06-4302-9882
大正区	06-4394-9882	旭区	06-6957-9882	西成区	06-6659-9882